

連載

働く女性 たちからの メッセージ

いきいき
仕事も生活も

会員企業で活躍されている女性社員の方々のキャリア、
働く上で心がけていること、仕事と生活の両立の知恵などを
ご紹介いたします。
企業の女性活躍推進のヒントが見つかるかも知れません。

斉藤 好さん

株式会社資生堂
花椿ファクトリー株式会社
取締役社長

東京都



1978年ビューティコンサルタントとして入社。
フィットネス事業や教育研修部門を経て2006年より現職。

●多様な個性が輝く職場に

資生堂は、多様な社員が共に働く職場を目指し、知的障がいのある方を中心に雇用する特例子会社、花椿ファクトリー(株)を2006年に設立しました。その際、責任者を社内公募したのですが、これこそ私の仕事！と手を挙げたところ、幸運にも任命され、以来5年間社長業を務めています。

現在、資生堂化粧品品の仕上げ加工を行う生産事業と本社ビル内の清掃などのオフィスサービス事業に22名の知的障がい者が在籍していますが、その勤勉で確かな仕事ぶりは完成度に優れており、一人ひとりが光り輝く人材として資生堂グループ内でも高い評価を得ています。これは、研修期間を通じて障がい特性を見極め、職域とのマッチングを的確に行っている成果の現れだと思います。

これからも、職場を明るくし、私たちに多くの気づきを与えてくれる社員一人ひとりの個性や特性を活かした育成支援を行いながら雇用拡大に取り組んでいく所存です。また、当職は女性の感性が活かせる分野ですので、次代を担う女性のチャレンジにも大きな期待を寄せています。



このみ 許斐 理恵さん

丸紅株式会社
人事部ダイバーシティ・マネジメント
チーム(兼)キャリア開発課 主任

東京都



1998年入社、産業プラント部配属。ソリューション事業部でe-Business推進、情報企画部で社内システムの企画を担当後、グループ内部統制システム構築プロジェクトチームに社内外向。産休・育休を経て2008年10月より人事部。

●キャリアは「思いがけないこと」の積み重ね

この春で入社14年目を迎えました。2008年10月から人事部に所属し、現在は設立3年目のダイバーシティ・マネジメントチームで、社員それぞれが「多様な強み」を存分に発揮し、成果を創出できる職場環境作りを進めています。

入社以来、営業部門、コーポレートスタッフ(管理)部門を含め、部を跨る異動を4回経験しました。どの部署でも上司・同僚に恵まれ、仕事を楽しみ、成長を実感する一方で、同じ分野・業界で専門性を高めていく社員が多い中、「自分のコアとなる強みって？」と自信を持ってない時期もありました。

そんな中、民間企業で役員を務める女性の話を聞く機会がありました。「キャリアは思いがけないことの積み重ね。振り返ったらずこにあるもの。」この言葉に出会って以来、思いがけず積んできた自分のキャリアそのものが自信へと変わりました。

ダイバーシティ・マネジメントを担当する今こそ、これまでの多様な経験を活かすチャンスと捉え、チャレンジを続けていきたいと思っています。



六角 広美さん

グローバル株式会社
知的財産部 海外渉外グループ
グループ・マネジャー

兵庫県



2001年中途採用で入社。購買部海外調達Gr. 海外営業統括部等を経て、現職に至る。

●真のグローバル化を目指して

ロンドンで数年滞在した経験を生かし、入社以来、一貫して海外に関わる業務を担当してきました。

知的財産部においては、まず米国特許訴訟実務に携わり、米国弁護士との窓口を担当させて頂きました。通訳・翻訳を行いながらも同時に戦略を意識して動かなければならぬ、また、日本と米国の法や文化の違いも理解できなければならぬという、私には少々荷の重い業務でしたが、振り返ると、最も自分が学び成長した時期であったと思います。

そのような経験を通して、グローバル化に真に必要なものは言語によるコミュニケーション力よりもまず異文化を理解して受け入れようとする姿勢ではないかと常に考えています。今後も、そうした真のグローバル化を目指して仲間と共に成長していきたいと思っています。



澤田 陽子さん
株式会社スギヨ
管理本部管理部門人事労務担当
課長

石川県



1989年4月に入社。
人事労務関連業務担当（給与計算、福利厚生、安全衛生、社会保険、採用関連、人事制度等）
2児の母。
現在仕事と家庭の両方で奮闘中。

● 気軽に相談できる職場を目指して

弊社は、石川県七尾市に本社があり主に水産練り製品を製造・販売をしています。

入社してから人事労務関連業務に携わってきました。その間、上司の退職を機に私の立場が一転して変わったように思います。初めて携わる業務に奮闘し、子育てと仕事の両立、昇進という重圧などで、余裕のない日々を送っていました。今では周囲からの励ましの言葉と応援があったからこそ今の私があることを、感謝しながら真摯な気持ちで業務に励んでいます。

現在私を含め女性3名で業務を行っています。細やかな対応と気配り、笑顔と元気なあいさつで、誰もが気軽に相談できる。そんな職場づくりを心がけています。その甲斐あってか、社員の方から「相談してよかった」、「親切に教えてくれてありがとう」などの声をかけていただき私のやりがいとなっています。

今後は受身の姿勢から自らもつと現場に向向き、社員からのクレームや要望などの生の声を吸い上げ、働きやすい職場づくり、笑顔の多い会社を目指して取り組んでいきたいと思っています。



大田 裕子さん
株式会社カシワバラ・コーポレーション
管理本部 広報グループ
サブリーダー

山口県



2003年住宅リフォーム部門の広告・宣伝担当として入社。
2009年、広報グループの発足にあわせて異動、現職。
新卒採用活動なども担当。

● 夢に向かって、一步一步

当社は建設業という特性上、女性の社員数は全体のわずか2割。その環境で認めてもらうには、「仕事は丁寧な、期日は守る。女だからと言い訳しない。絶対に泣かない。」を実践し、後輩にもそう指導しています。

当社では毎年社長親展の申告書を提出します。仕事への思いや課題、今後必要なスキル等を報告し、前向きに支援や改善を求めます。私は昨年、女性だけの住宅部門を作りたいと申告しました。建築が好きで入社した女性達は、仕事と家庭の両立を願っています。採用に関わった後輩達が適齢期を迎え、いよいよその時が来ています。私自身、出産、育児を心から望んでいます但未だ叶わず、昨年不妊治療を再開しました。男性の上司には話し辛い問題でしたが、真剣に受け止めてくださり、治療の課程で3週間の長期休暇もいただきました。感謝と共に、仕事で恩返ししなければ、と思いましたが、今後は夢の実現に向けて公私共に一步一步前進したいと思えます。

